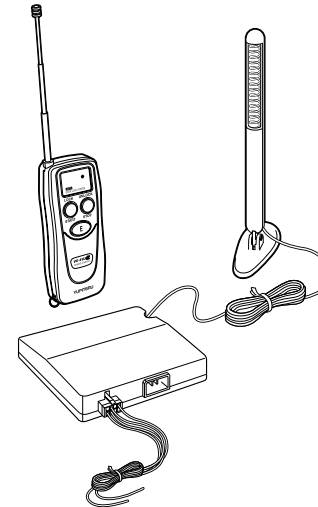


ユピテル工業株式会社 YUPITERU

テレコントロールエンジンスターター **VE-E63K**

取扱説明書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、「電波法第四条」技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	主な特長	2
	多彩なオプション	4
	ご使用前に	5
	各部の名称とはたらき	8
	リモコンの上手な使いかた	12
	ローバッテリー時の動作について	12
操作する	電池の入れかた(交換のしかた)	13
	セル時間の設定	14
	アイドリング時間の設定	16
	エンジンを始動させる	18
	エンジンを停止させる	20
	車への乗車	21
	ターボタイマー機能について	22
	スリープ機能について	23
	安全機能について	24
	ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について	25
	オートキーレス機能を 使用する/停止する	28
	オートキーレスの 通信範囲を変更する	29
その他	リモコンの追加	30
	バッテリー交換や 本体付け替え時の再設定	33
	こんなときは	35
	エラー音について	37
	仕様	37
	アフターサービスについて	38
	保証書	裏表紙



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。
また、本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

■取り付け可能な車

- 適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- オートマチック(AT)車
- キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- 12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- マニュアル(MT)車には取り付けできません。

■オートキーレス機能

本機のオートキーレス機能は、リモコン所持者が“車から離れるとロック(施錠)”“車に近づくとアンロック(解錠)”を自動で行う画期的なシステムです。

オートキーレス機能を停止して、ボタン操作(マニュアル操作)のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使いください。また、ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

※本機リモコンがオートキーレス通信範囲内にあると、ドアがアンロックされます。その場合は、オートキーレス通信範囲外にリモコンを移動してください。また、別売 追加リモコンを登録した場合も、どちらか一方のリモコンがオートキーレス通信範囲内にあるとドアがアンロックされます。車輦内にリモコンを保管する場合は、保管するリモコンのオートキーレス機能を停止してください。

※ワンボックスカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態にしておきたい場合は、オートキーレス機能を停止して、本機リモコンのマニュアル操作または車のキーでアンロック状態にしてください。また、降車の際には、必ず車のキーを携帯してください。

■電波到達距離(直線見通し)3,000mを実現

アンパ内蔵受信アンテナの採用と高度な通信技術、エンジン始動制御技術の採用により、安定したエンジンの始動・停止ができます。

市街地、住宅地(見通し) 約300m(300m~700m)
妨害電波の少ない河川道路(見通し) 2,000m~最大3,000m(当社測定)

※電波の届く距離は、地形・建物などの条件により変化します。
※ファンモーターなどのノイズの大きな車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときのほうが短くなることがあります。
※車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲でご使用ください。

■万一の事故を防止する充実の安全機能

本機により、エンジンを始動させるときや始動した後に、さまざまな安全機能が働き、万一の事故を防止します。

① エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動した後、設定した時間が経過するとエンジンが自動的に停止します。

② P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のときは、エンジンの始動はできません。また本機でエンジンを始動させた後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが自動的に停止します。

※一部の車輦では、P・(パーキング)ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。この場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。
フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■安心の3年保証

お客様に安心してご使用いただきますように、3年間の保証をご提供いたします。
※3年保証はメインユニット(リモコンは1年、電池等の消耗部品は除く)が対象となります。

■誤動作を防ぐIDコード

1億通りの中から商品ごとに個別のIDコードを設定。他の電波による誤作動を防止します。

■ローバッテリー表示

リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。ローバッテリー表示時は、オートキーレス機能とその設定操作はできなくなります。(マニュアル操作、エンジンスタート操作はできます)早めに新しい電池と交換してください。
さらに、電池の消耗が進むと、ランプが消灯してすべての動作を停止します。

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせたアイドリング時間を、10~30分の間で5分単位の設定ができます。

■ターボタイマー機能

走行時間に合わせて、走行後のアフターアイドリング(30秒~3分)を自動的に行うことができます。

※P・ポジションを自動検出できない車輦の場合は、P・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。(フットブレーキへの接続では動作しません)

■光るアンテナ

車載アンテナ(受信アンテナ)は、内蔵ランプの点滅により、視覚的セキュリティ効果を演出します。また、インテリアとしても最適です。

※ランプの点滅はON/OFFできます。

■スリープ機能

車を使用しない状態が14日以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が動作すると、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度車のキーを使ってエンジンを始動させてください。

■リトライ機能

1回でエンジン始動できなかったときに、再始動を自動的に2回まで行います。

多彩なオプション

■ハザード制御

(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)

本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後 最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。(ハザードアンサーバック機能)

さらに、リモコン操作またはオートキーレス機能でドアをロック/アンロックすると、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

■無線イモビライザー

(別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ)

本機リモコンでドアロック操作をすると、約15秒後から、車のキーではエンジンをかけられないようになります。

本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能は解除されます。

- リモコンの電池切れ、または故障などの場合、無線イモビライザー機能が解除できなくなります。本オプションを取り付ける場合は、別売オプションの追加リモコン：A-106Eの購入をおすすめします。

メモ

- 無線イモビライザー機能は、本機のイモビライザー機能を設定(ON)後、スタンバイ中やスリープ機能が働いた場合でも維持されます。
- ※ スリープ機能が働いた状態(無線イモビライザーを取り付けている場合)からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除(車のキーでドアを開け、車のキーをACC ONにする)した後、無線イモビライザー機能を解除(リモコン操作でドアアンロックにする)してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■追加リモコン

本機付属のリモコンの他に、もう1つリモコンを持つことができます。

※ オートキーレス通信範囲を個別に設定することはできません。

ご使用の前に (安全上のご注意)

次ページに続く

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告： 警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意： 注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

⚠ △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。

🚫 ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。

❗ ● 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

⚠ 警告

❗ シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。

🚫 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。

🚫 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

🚫 お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでONした場合と同じ状態になり、大変危険です。

❗ リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。

🚫 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。

❗ 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

🚫 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

🚫 煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。

🚫 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

⚠ 警告

- ❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください
 - ❗ ボンネットを開けるときの
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
- ❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません
エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はスターターの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないままで動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- ❗ 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- ❗ むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります
- ❗ あらかじめ駐車時には以下のことを守る
 - ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
 - 全ての窓を閉めてください。
 - 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときのや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するとき、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。



本機を取り付けたことによる、車輛や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法に関して

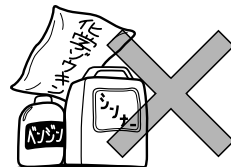
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

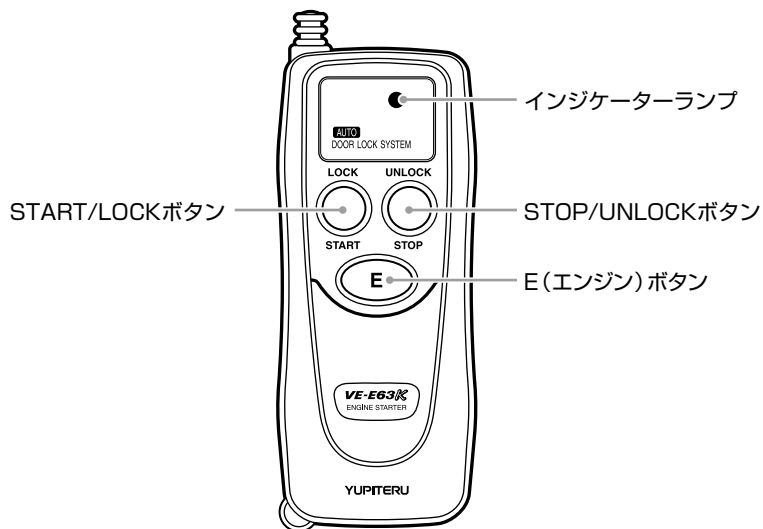
- コンライトキャンセル機能を配線していない場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
- ※ 暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
- ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について
ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドア・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまったりリモコン操作ができなくなりますので、車のキーは必ず携帯してください。
- キーでエンジンをかけているときは、リモコンでドアのロック/アンロックはできません。
- ※ 車から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

ご注意 取り扱いについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
- 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。



リモコン

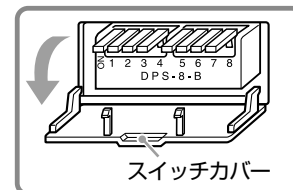


ファンクションスイッチ

取り付けの車や使用条件に合わせて、
取り付け店であらかじめ設定します。
※No.4～7は、触れないでください。

NO.	スイッチ機能	ON	OFF
1	モード	設定モード	通常
2	設定切替	アイドリング時間	セル時間
3	ターボタイマー	使用する	使用しない
8	ID書き込み	書き込み時	通常

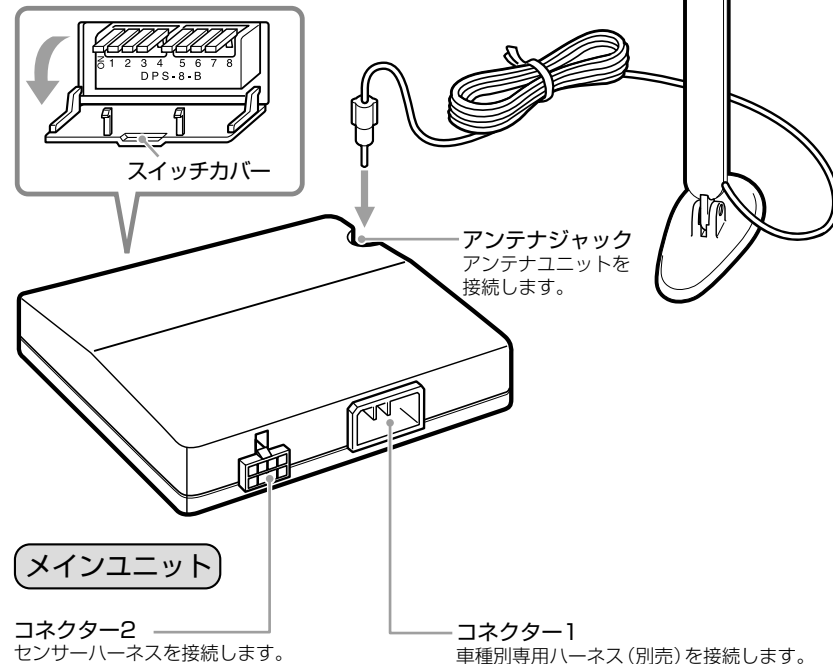
ON：下側 OFF：上側



アンテナユニット

アンテナ

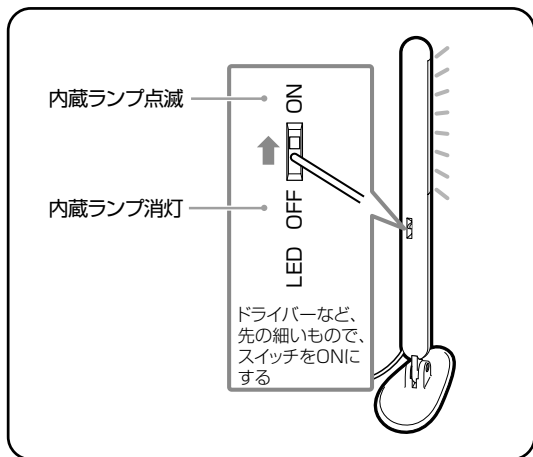
リモコンから送られてくる信号を受信します。
また、待受時や本機でエンジン始動中にアンテナが発光(内蔵LEDの点滅)します。



P・ポジション検出ができない場合はブレーキ検出線をフットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプに接続します。また、必要に応じてドア検出線(別売)やハザード制御(別売)などを接続することができます。

※P・ポジション自動検出ができない車種では、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプに接続しないと、本機は動作しません。このような車種でターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケータランプに接続してください。
(フットブレーキへの接続では、ターボタイマー機能は動作しません)

アンテナユニット



アンテナユニット(受信アンテナ)は、内蔵ランプが点滅します。
アンテナのスイッチにより、点滅、消灯を切り替えてご使用いただけます。

■アンテナユニットの発光機能について

通常(リモコンからの電波を待ち受けている状態)またはエンジンスターターでエンジンを始動中(アイドリング中、アフターアイドリング中)に内蔵ランプが点滅します。

- ※ キーでエンジンを始動したときは、ランプが点滅しません。
また、ドアロック/アンロック操作時やスリープ機能が働いているときも点滅しません。

■取り付けの注意

- アンテナユニット(受信アンテナ)は、車体の金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。(通信距離に影響します)
また、なるべく高い位置にあるほうが、電波が届きやすくなります。
- アンテナユニット(受信アンテナ)は、運転中の視界の妨げとならない場所に取り付けてください。

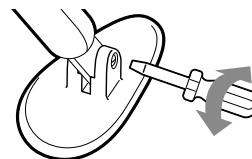
⚠ 警告

- エアバッグ上や、エアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。電源コードが妨げとなり、エアバッグが正常に動作しなかったり、動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- 運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け、配線をしてください。誤った場所への取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

取り付けは、確実に行ってください。落ちたりして、けがの原因となります。また、フロントガラスには取り付けしないでください。

- ※ アンテナの動きが悪いとき(ゆるいときや、きついとき)は、ジョイント部のネジを＋ドライバーで調整してください。(ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります)



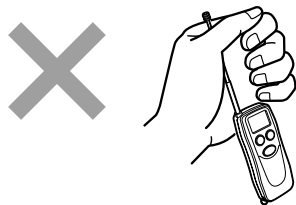
- ※ 車種により、取り付け部分周辺が日焼けして変色した場合、アンテナユニットを取りはずした跡が残ることがあります。
- ※ デフォグガー(曇り取り)およびラジオアンテナが埋め込まれたウインドウ付近に取り付けた場合は、通信距離が短くなります。
- ※ 無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、それらの影響で通信距離が短くなることがあります。
- ※ ファンモーターなどのノイズの大きい車では、エンジンを始動させるときに比べ、停止させるときの通信距離が短くなることがあります。

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

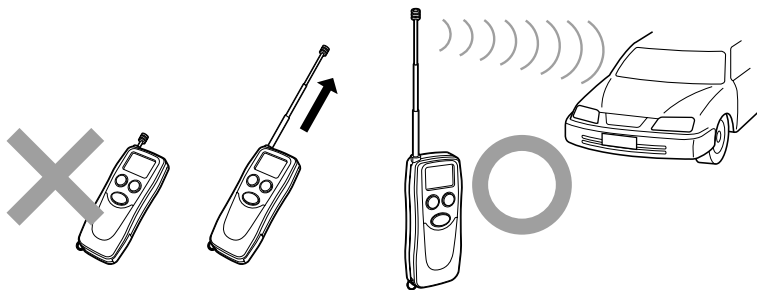
■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※電波が飛びにくくなります。



■エンジンのスタートやストップを行う場合は、リモコンのアンテナを完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。

※ドアロック/アンロック操作は、アンテナを伸ばさずに操作できます。



ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。ローバッテリー表示時は、オートキーレス機能とその設定操作はできなくなります。(マニュアル操作、エンジンスタート操作はできます) 早めに新しい電池と交換してください。

さらに、電池の消耗が進むと、ランプが消灯して、すべての動作を停止します。

電池の入れかた (交換のしかた)

ご購入後、はじめて本機を使用するときは下記の手順で付属の電池を装着してください。電池交換は車輛の周囲の安全を確認してから行ってください。

※ 付属(内蔵)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

電池寿命の目安

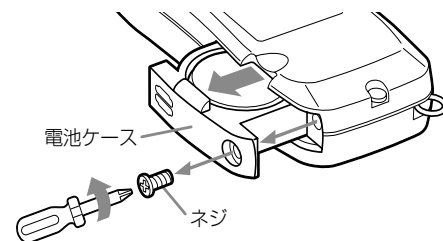
リモコンのインジケータランプが点滅したら(ローバッテリー表示)新しい電池(CR2032×2)と交換してください。

※ 電池の寿命は、使用する条件によって異なりますが、約10ヶ月間使用できます。

※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。

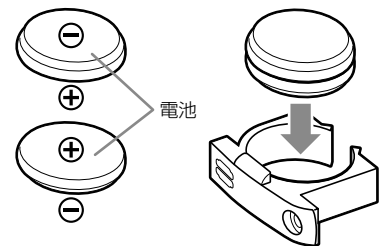
※ 交換するときは必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。また、交換時には電池の向きを間違えないようにご注意ください。

1 リモコン側面のネジをはずし、電池ケースを取り出す



※ ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池の⊕側どうしを合わせて電池ホルダーにセットする



※ 電池ケースのネジ以外は触れないでください。本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池ケースを戻し、ネジを締める

⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万が一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

※ 電池を交換した場合、オートキーレス機能を使用するに設定されます。(28ページ参照)

セル時間の設定

車に合わせて、リモコンでセルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合には長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。(工場出荷時は1.0秒に設定されています)

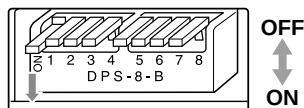
※ オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

セル時間を延長する

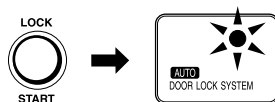
※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

- 1** メインユニットのファンクションスイッチNO.1をON(セル時間設定)にする



- 3** インジケータランプが点滅中(3秒間)に、START(スタート)ボタンを押す

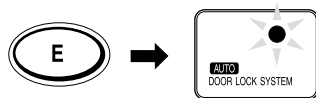


インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたセル時間に応じたブザー音が鳴ります。

セル時間が1段階延長されました。

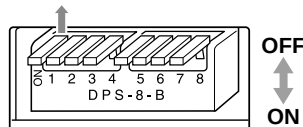
※ さらにセル時間を延長する場合は、**2**に戻って設定を続けます。

- 2** リモコンのE(エンジン)ボタンを押す



インジケータランプが点滅します

- 4** メインユニットのファンクションスイッチNO.1をOFF(通常)にする



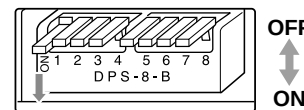
※ 設定には専門知識が必要です。不必要な設定は車輛の破損につながりますので、十分ご注意ください。

セル時間を短縮する

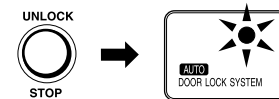
※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

- 1** メインユニットのファンクションスイッチNO.1をON(セル時間設定)にする



- 3** インジケータランプが点滅中(3秒間)にSTOP(ストップ)ボタンを押す

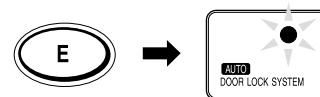


インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたセル時間に応じたブザー音が鳴ります。

セル時間が1段階短縮されました。

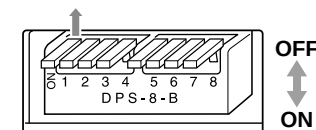
※ さらにセル時間を短縮する場合は、**2**に戻って設定を続けます。

- 2** リモコンのE(エンジン)ボタンを押す



インジケータランプが点滅します

- 4** メインユニットのファンクションスイッチNO.1をOFF(通常)にする



■セル時間とブザー音

0.5秒	ビッ
0.7秒	ビピッ
1.0秒	ビビピッ
1.5秒	ビビビピッ
2.0秒	ピー
3.0秒	ピーピッ
5.0秒	ピーピピッ

操作する

アイドリング時間の設定

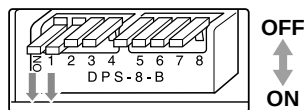
エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間(10分～30分の間で、5分単位)をリモコンで設定できます。(工場出荷時は10分に設定されています)

アイドリング時間を延長する ※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

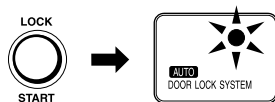
アイドリング時間を短縮する ※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

リモコンの操作

1 メインユニットのファンクションスイッチNO.1と2をON(アイドリング時間設定)にする



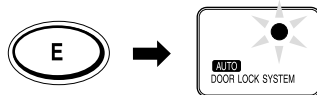
3 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、START(スタート)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたアイドリング時間に応じたブザー音が鳴ります。
アイドリング時間が1段階延長されました。

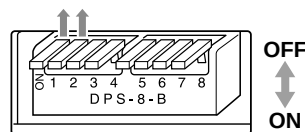
※ さらにアイドリング時間を延長する場合は、**2**に戻って設定を続けます。

2 リモコンのE(エンジン)ボタンを押す



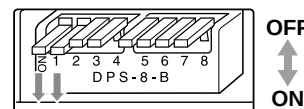
インジケータランプが点滅します

4 メインユニットのファンクションスイッチNO.1と2をOFF(通常)にする



リモコンの操作

1 メインユニットのファンクションスイッチNO.1と2をON(アイドリング時間設定)にする



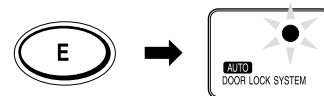
3 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、STOP(ストップ)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、メインユニットから設定されたアイドリング時間に応じたブザー音が鳴ります。
アイドリング時間が1段階短縮されました。

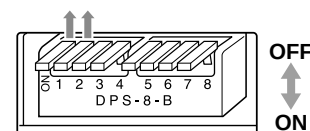
※ さらにアイドリング時間を短縮する場合は、**2**に戻って設定を続けます。

2 リモコンのE(エンジン)ボタンを押す



インジケータランプが点滅します

4 メインユニットのファンクションスイッチNO.1と2をOFF(通常)にする



■アイドリング時間とブザー音

10分	ピッ
15分	ピピッ
20分	ピピピッ
25分	ピピピピッ
30分	ピー

操作する

操作する

エンジンを始動させる



START (スタート) ボタン
E (エンジン) ボタン

リモコンを操作するときは

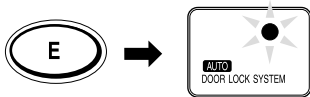
- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると電波が飛びにくくなります。

メモ

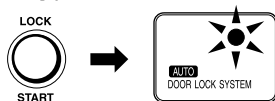
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

リモコンの操作

- 1 E (エンジン) ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



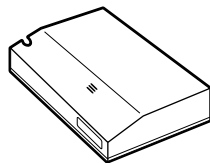
- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、START (スタート) ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりスタート信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3 安全機能のチェックを自動的に行う



- 4 約5秒後にエンジンを始動させる

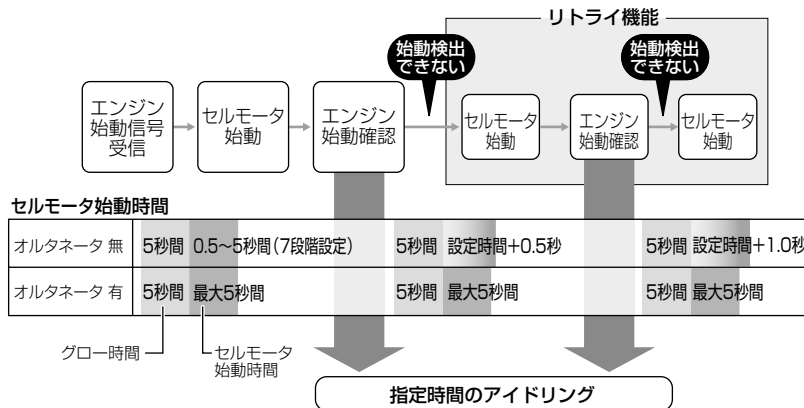
- 始動すると、アイドリング中はメインユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)
- 始動しなかったときは、リトライ機能が働きます。
- 別売 ハザード制御:A-18SFを接続していると、エンジン始動後、約20秒以内にハザードランプを3回点滅して、エンジン始動をお知らせします。また、エンジン始動中に上記エンジン始動操作を行うとハザードランプを3回点滅して、アイドリング中であることをお知らせします。

- 始動したあと、設定されている時間*が経過すると自動的にエンジンは停止します。

*10分から30分。(アイドリング時間の設定は16ページ参照)

リトライ機能とセルモータ始動時間について

エンジンが始動しなかったときに、再始動(リトライ)を2回行います。



- ※ オルタネータ線を接続した場合、セルモータの始動時間は最大5秒となり、エンジンの始動を検出すると、セルモータを停止します。
- ※ リトライ機能によっても始動しないときは、もう1度リモコン操作をやり直してください。
- ※ 車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動(リトライ)を繰り返す場合があります。このような場合は、オルタネータ線(白線)の接続が必要です。

警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。
リモコンの電波は周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

エンジンを停止させる

本機でエンジンを始動したときは、以下の操作でエンジンを停止(アイドリングを中止)することができます。

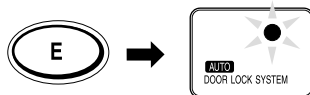


メモ

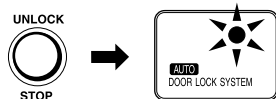
エンジンが始動しているときに、ファンモーターなどのノイズの大きい車や、外の無線機の近くで使用すると、それらの影響で、リモコンの通信距離が短くなることがあります。

リモコンの操作

- 1 E(エンジン)ボタンをインジケータランプが点滅するまで押す



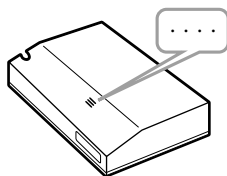
- 2 インジケータランプが点滅中(約3秒間)に、STOP(ストップ)ボタンを押す



インジケータランプが点滅から、点灯(約2秒間)へ変わりストップ信号が送信されます。

リモコンからの信号を受信すると

- 3 エンジンが停止する



メインユニットからの断続音は鳴りやみます。

※フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にすることで、エンジンを停止することもできます。

車への乗車

車を発車させる

本機でエンジン始動した状態では、走行できません。走行するときは、いったんエンジンを停止させた後、必ずキー操作でエンジン始動してください。

キーでエンジンを始動させる



走行できます。

操作する

ターボタイマー機能について

走行後のアフターアイドルリングを自動的に行うことができます。アフターアイドルリングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能の動作について

ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンのシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能は、パーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作を開始し、キーを抜いたあと、アフターアイドルリングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※ターボタイマー機能は、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)
ただし、P・ポジション自動検出ができない車種でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

■ターボタイマー機能の設定

メインユニットのファンクションスイッチで設定します。(取り付け・接続説明書参照)

■ターボタイマー機能を使用する

ターボタイマー機能の設定をすると、車のキーをACCまたはOFFにしたとき、自動的にアフターアイドルリングになります。

※アフターアイドルリング中に、リモコンでエンジン停止の操作を行うと、エンジンは停止します。

※給油等でアフターアイドルリングが必要ないときは、リモコンでエンジンを停止するか、フットブレーキを踏んで、一旦シフトレバーをDまたはRの位置にして、エンジンを停止してください。

■オート方式のアフターアイドルリング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルリングの時間が自動的に変化します。

走行時間	アフターアイドルリング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※ターボタイマー機能のアフターアイドルリング時間は、パーキングポジション(P)検出から開始します。

⚠ 注意

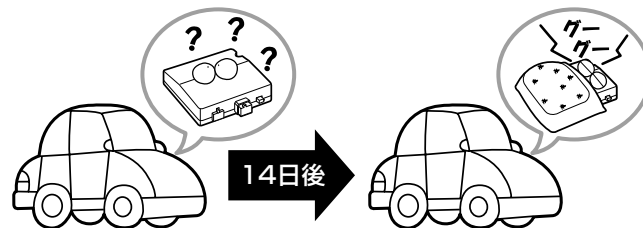
ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマーの設定を解除してご使用ください。また、設定の解除をするときには、メインユニットのファンクションスイッチのNO.3(取り付け・接続説明書参照)以外は触れないでください。

※カーラジオのON/OFFに連動して、アンテナが昇降する車では、ターボタイマーが働いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。

スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動やキーレス操作はできません。スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

車のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は、再度P・ポジション自動検出機能の確認(33ページ)が必要です。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外のおときは、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。

※一部の車種では、P・ポジション自動検出のできないものや、できにくいものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能(オプション対応)

(別売のA-60を使用して本機からのコンライト出力線をコンライト信号線に配線した場合)
オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。
※一部の車種において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

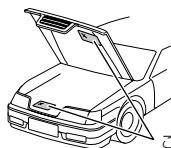
■ドア検出(オプション対応)

(別売のA-60を使用してドアスイッチに接続した場合のみ)
エンジンスターター始動中、ドアを開けると、エンジンが停止します。
※ターボタイマーアフターアイドリング中は、この機能は動作しません。



⚠ 警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープンやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー (小)



ご注意ステッカー (大)

ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について

次ページに続く

⚠ 注意 本機の機能について

- 車から離れるときは、車のキーと本機のリモコンを必ず携帯してください。車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、故障などの場合において、本機リモコンではドアアンロックができなくなります。またラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアアンロックできない場合があります。車のキーでエンジンを始動している場合(ACC ON以上)は、本機リモコンによるドアのロック/アンロックはできません。
- ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。※オートキーレスの通信範囲とマニュアル操作の通信範囲は異なります。オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲に通信範囲を切り換えて使用してください。
- ※オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。ドアのロックは、アンロックの動作よりも比較的遠い距離で動作します。
- 本機はダブルロック機能により、オートキーレス機能設定中にマニュアル操作通信範囲よりさらに遠ざかると、約16秒後に再度ドアロックを行います。
- ※ダブルロック機能は、ACC ONからOFFにした場合のみ動作します。また、ACC ONからOFF後、本機リモコンでドアロック/アンロック操作(マニュアル操作)を行った場合は、ダブルロック機能はキャンセルされます。
- ※一部の車種においてダブルロック機能が正常に働かない場合があります。車から離れるときは、必ずドアのロック状態をご確認ください。
- リモコンの持ちかた、携帯の方法(バックの中や、ポケットの中)によっては、オートキーレスの通信範囲が狭くなることがあります。また、エンジンスターターによるエンジン始動中は、ノイズの影響により通信範囲が狭くなることがあります。
- カーセキュリティと併用する場合は、ドアロック/アンロック時にセキュリティが反応する場合があります。セキュリティを設定する前に、マニュアル操作でドアロックを行ってください。(オートキーレス動作においては、ダブルロック機能が動作してセキュリティが反応する場合があります) また、アンロック動作前にセキュリティ解除をおすすめします。

本機取り付けによる車や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠ 使用上のご注意

必要以上にオートキーレス通信範囲を広げないでください。

(オートキーレス機能の通信範囲はリモコンで変更できます。詳しくは29ページの「オートキーレスの通信範囲を変更する」をご覧ください)

リモコンを車内に放置しないでください。

荷物の積みおろしなどで、ドアアンロックを維持する場合は、オートキーレス機能を停止してご使用ください。(オートキーレス機能中、車内にリモコンを放置していると、人の移動やドアの開閉などで、電波の受信状態が変化し、ドアがロックされることがあります)

本機のオートキーレス機能は、リモコンから信号を自動的に送信し、車載のメインユニットが受信します。リモコンを携行した人が近づくこと、固有の信号を受信し、ドアをアンロック(解錠)します。離れると固有の信号がなくなることでドアをロック(施錠)します。

- 住居の近くに駐車している場合など、本機リモコンや追加リモコン(別売オプション)が車の近く(オートキーレス通信範囲内)にあるときは、ドアがアンロック(解錠)されます。その場合は、オートキーレス通信範囲外でリモコンを保管するか、オートキーレス機能を解除してください。



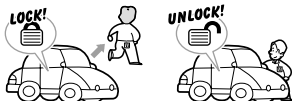
操作する

操作する

ドアロック(施錠)/アンロック(解錠)機能について

オートキーレス機能について

本機のオートキーレス機能は、リモコン所持者が“車から離れるとロック(施錠)”“車に近づくときアンロック(解錠)”を自動で行う画期的な機能です



オートキーレス機能を停止して、ボタン操作(マニュアル操作)のみでドアロック/アンロックすることや、オートキーレス機能設定時でも、ボタン操作(マニュアル操作)でドアロック/アンロックすることもできますので、必要に応じてお使い分けてください。

また、ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

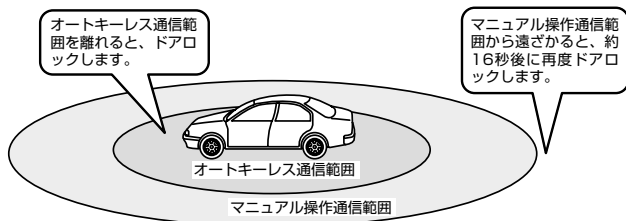
※本機リモコンがオートキーレス通信範囲内にあると、ドアがアンロックされます。その場合は、オートキーレス通信範囲外にリモコンを移動してください。また、別売 追加リモコンを登録した場合も、どちらか一方のリモコンがオートキーレス通信範囲内にあるとドアがアンロックされます。車内にリモコンを保管する場合は、保管するリモコンのオートキーレス機能を停止してください。

※ワンボックスカーなどでリアハッチを開ける場合や、アンロック状態しておきたい場合は、オートキーレス機能を停止して、本機リモコンのマニュアル操作または車のキーでアンロック状態にしてください。また、降車の際には、必ず車のキーを携帯してください。

ダブルロック機能について

オートキーレス機能設定中にマニュアル操作通信範囲より離れると、約16秒後に再度ドアロックを行います。

※ダブルロック機能は、ACC ONからOFFにした場合のみ動作します。また、ACC ONからOFF後、本機リモコンでドアロック/アンロック操作(マニュアル操作)を行った場合は、ダブルロック機能はキャンセルされます。



※一部の車種において、ダブルロック機能が正常に動かない場合があります。車から離れるときは、必ずドアのロック状態をご確認ください。

スリープ機能動作中のキーレス動作について

14日以上、エンジンの始動または車のキーでの操作が行われないと、車のバッテリー保護のため、スリープ機能(23ページ)が働き、本機リモコンによるオートキーレス機能やマニュアル操作でのドアのロックやアンロックができなくなります。

26 スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。

マニュアル操作によるドアのロック/アンロック操作について

オートキーレス機能設定中/停止中に関わらず、マニュアル操作でのドアのロック/アンロックができます。

メモ ドアロック/アンロックシステムはエンジン始動・停止の電波と異なった電波を使用していますので、リモコンのアンテナは収納した状態で操作ができます。

マニュアル操作でドアをロック(施錠)する



リモコンの操作

1 START/LOCKボタンを押す



インジケータランプが2秒間点灯します。
オートキーレス機能停止中は、インジケータランプが3回点滅します。

2 ドアがLOCK(施錠)されました

ハザード制御(別売)を接続している場合には施錠と同時にハザードランプが1回点滅します。

マニュアル操作でドアをアンロック(解錠)する



リモコンの操作

1 STOP/UNLOCKボタンを押す



インジケータランプが2秒間点灯します。
オートキーレス機能停止中は、インジケータランプが3回点滅します。

2 ドアがUNLOCK(解錠)されました

ハザード制御(別売)を接続している場合には解錠と同時にハザードランプが2回点滅します。

※ マニュアル操作でドアをアンロックした後、車から離れる場合は、必ずドアのロック状態を確認してください。

オートキーレス機能を使用する／停止する

リモコンの電池をはじめて装着する場合や、電池交換をした場合は「オートキーレス機能を使用する」に設定されます。

⚠ 安全のため、エンジンが停止している状態で設定を行ってください。また、設定中リモコン操作によって車のドアがロック/アンロックされますのでご注意ください。

オートキーレス機能を停止する

メモ

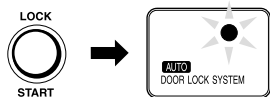
ドアロック/アンロック操作は、ドアのロック、アンロックが確認できる範囲でご使用ください。

※ オートキーレスの通信範囲とマニュアル操作の通信範囲は異なります。オートキーレス機能をご使用になる場合は、ドアロックが確認できる範囲に通信範囲を切り換えて使用してください。

※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作範囲(距離)が異なります。

リモコンの操作

- 1 START/LOCKボタンを5秒以上押す

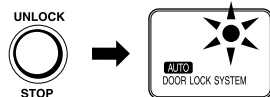


- 2 インジケータランプが3回点滅して、セット完了です

オートキーレス機能を使用する

リモコンの操作

- 1 STOP/UNLOCKボタンを5秒以上押す



- 2 インジケータランプが2秒点灯して、セット完了です

注意

エンジンが停止している状態で設定を行うと、リモコン操作によって車のドアがロック・アンロックされますのでご注意ください。

ローバッテリー時の動作について

リモコンの電池が消耗すると、常時インジケータランプが点滅して電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は早めに新しい電池と交換してください。さらに電池の消耗が進むと、インジケータランプの点滅が消えて、リモコンによるドアロック/アンロック操作ができなくなります。

ローバッテリー表示時は自動的にオートキーレス機能を停止します。(ドアロック/アンロックはマニュアル操作でのみ動作します)

また、電池交換後は「オートキーレス機能を使用する」に設定されますので、オートキーレス機能の停止や通信範囲の変更を必要に応じて行ってください。

オートキーレスの通信範囲を変更する

オートキーレス機能の通信範囲を状況に応じて、5段階に変更できます。

(工場出荷時は通信範囲大に設定されています)

ドアロックが確認できる範囲に、通信範囲を切り替えてご使用ください。

通信範囲の変更は、車内で車のキーを抜き、エンジンが停止した状態で行ってください。

※ オートキーレス機能のドアロックとアンロックは、動作上、動作範囲(距離)が異なります。ドアのロックは、アンロックに比べ、比較的高速で動作します。

リモコンの操作

- 1 START/LOCKボタンとSTOP/UNLOCKボタンを同時に5秒以上押す

インジケータランプが点滅します。

- 2 START/LOCKボタンを1回押すごとに通信範囲が広くなります
STOP/UNLOCKボタンを1回押すごとに通信範囲が狭くなります

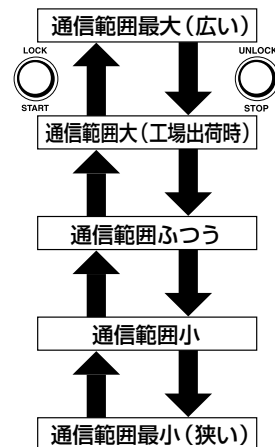
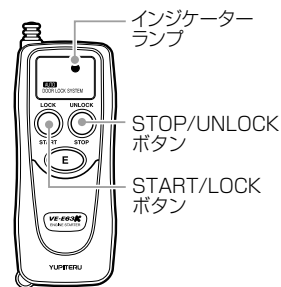
現在の設定に応じてメインユニットからブザーが鳴ります。

通信範囲最大(広い)	ピー
通信範囲大	ビビビビ(工場出荷時)
通信範囲ふつう	ビビビ
通信範囲小	ビビ
通信範囲最小(狭い)	ピ

- 3 ご希望の距離に設定ができれば、再度、START/LOCKボタンとSTOP/UNLOCKボタンを同時に5秒以上押す

インジケータランプが1秒間点灯し、メインユニットから「ピーピー」と鳴り設定完了です。また、10秒間操作がないとメインユニットから「ピーピー」と鳴り、変更した設定内容で終了します(自動終了)

※ 設定を変更した場合は、安全のため、必ず実車にてご確認ください。周囲の環境によっては設定した状況と使用状況に差が生じることがあります。



注意

安全のため、必要以上に通信範囲を広げないでください。ドアロックが確認できる範囲に設定してください。

メモ

車のキーをACC ONからOFFにすると、その直後のドアロック通信範囲を狭くする機能が働き、設定した通信範囲よりも狭い範囲でドアロックします。

別売 追加リモコン：A-106Eを追加する場合は、以下の手順で登録を行ってください。

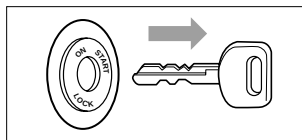
※ 本機リモコンは、キーレス用IDとエンジンスターター用IDの2つのIDコードを設定しています。リモコンを追加する場合、付属のリモコンのエンジンスターター用IDも書き込む必要があります。

※ 付属のリモコンが故障または紛失した場合は、手順**10**～**13**を省いて登録を行ってください。

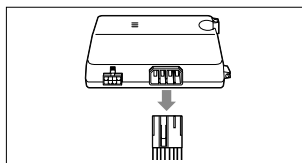
※ 追加リモコンを2台登録することはできません。

1 車のキーを抜き、車を駐車した状態にする。

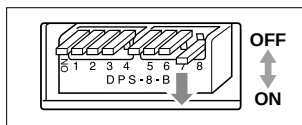
※手順**3**～**7**を行う場合、付属のリモコンは電池を抜いておく。
(追加リモコンのID書き込みができないことがあります)



2 メインユニットのコネクター1(車種別専用ハーネス)を外す。



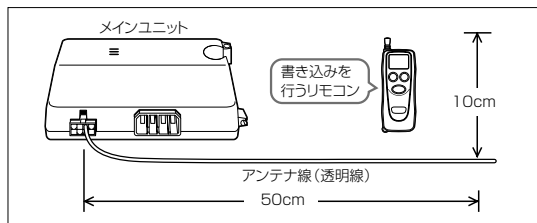
3 メインユニットのファンクションスイッチNo.8をON(ID書き込み)にする。



4 追加リモコンに電池を装着する。

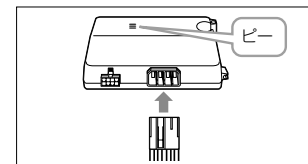
装着後は自動的にオートキーレス機能ONになります。
※リモコンに電池を入れるときは、電池の向きに注意してください。

5 追加リモコンを、オートキーレス機能ONの状態メインユニットから50cm以内の所で、アンテナ線から10cm以内に置く。



6 メインユニットのコネクター1(車種別専用ハーネス)を接続する。

メインユニットから「ピー」と鳴る。



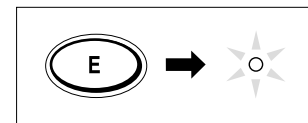
7 5秒ほどでキーレス用IDの書き込みは終了します。書き込みが完了した場合は、コネクター1を接続してから5秒以内にメインユニットから「ピーー」と鳴ります。また、書き込みができなかった場合は、コネクター1を接続してから約5秒後に「ピピピピピ」と鳴ります。

8 書き込みエラー音「ピピピピピ」が鳴った場合は、メインユニットのコネクター1を外して、上記手順**5**～**7**をもう一度やり直してください。

9 付属のリモコンに電池を装着する。

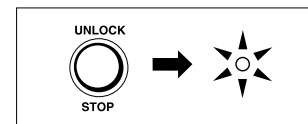
※リモコンに電池を入れるときは、電池の向きに注意してください。

10 付属のリモコンのE(エンジン)ボタンを押す。



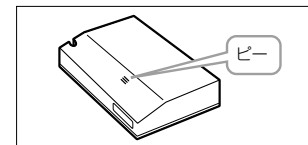
11 インジケータランプが点滅中(3秒間)に、付属のリモコンのSTOP(ストップ)ボタンを押す。

インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、リモコンからの信号を受信すると、メインユニットから「ビッ」と鳴る。

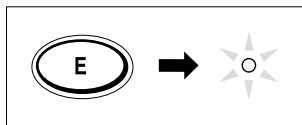


12 もう一度、手順**10**、**11**の操作をする。

13 リモコンからの信号を受信すると、メインユニットが「ピー」と鳴り、付属のリモコンのエンジンスターター用IDの書き込みが完了。

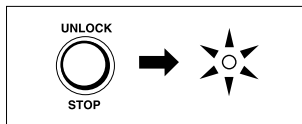


- 14** 追加リモコンのE(エンジン)ボタンを押す。



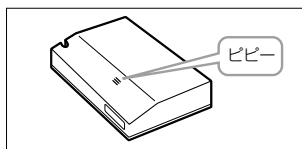
- 15** インジケータランプが点滅中(3秒間)に、追加リモコンのSTOP(ストップ)ボタンを押す。

インジケータランプが点滅から点灯(2秒間)へ変わり、リモコンからの信号を受信すると、メインユニットから「ビビッ」と鳴る。

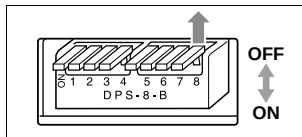


- 16** もう一度、手順14、15の操作をする

- 17** リモコンからの信号を受信すると、メインユニットが「ビビ」と鳴り、追加リモコンのエンジンスターター用IDの書き込みが完了。



- 18** メインユニットのファンクションスイッチNo.8をOFF(通常)にする。



- 19** リモコンを追加した場合、本書33ページのP・ポジション検出の再設定が必要です。

バッテリーの交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。車種別専用ハーネスを接続すると、本機のメインユニットから「ビビビッ ビビビッ ビビビッ」という確認音が連続して鳴ります。以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(このような場合は、P・ポジション自動検出の確認をしないと本機は動作しません)

※メインユニットのファンクションスイッチが全てOFF(上側)になっていることを確認してください。

1 車種別専用ハーネスをメインユニットのコネクター1に接続します

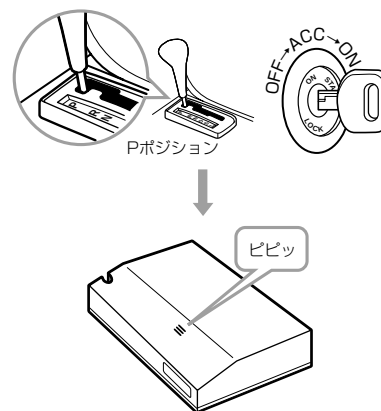
メインユニットから「ビビビッ ビビビッ ビビビッ」という確認音が連続して鳴ります。

※確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。

2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます

メインユニットから約3秒後に「ビビッ」という音が鳴ります。

※何も音が鳴らない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を再度確認してください。



P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

ブレーキペダルを踏まずに、キーを差し込んでOFF→ACC→ONと切り換えます。

メインユニットから約3秒後に「ビビッ」という音が鳴ります。

3 フットブレーキをかけシフトレバーをP(パーキング)・ポジションからR(リバース)・ポジションに切り換えます

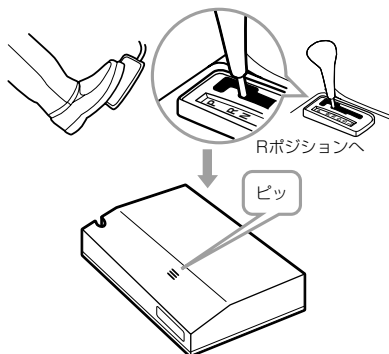
メインユニットから「ピッ」と鳴ります。

※何も音が鳴らない場合は、P・ポジション自動検出ができません。ブレーキ検出線(茶)の接続が必要です。(ブレーキ検出線の接続先は取り付け・接続説明書をご覧ください)

P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

ブレーキをはなします。

メインユニットが「ピッ」と鳴ります。



※ターボタイマー機能を使用する場合は、P・ポジションインジケータランプにブレーキ検出線を接続のうえ、メインユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、最初からP・ポジション自動検出を行ってください。

※ターボタイマー機能を使用しない場合は、ブレーキスイッチにブレーキ検出線を接続のうえ、「フットブレーキに配線した場合」の手順に従って、P・ポジション自動検出を行ってください。

4 シフトレバーをP(パーキング)・ポジションに戻し、キーを抜いてください

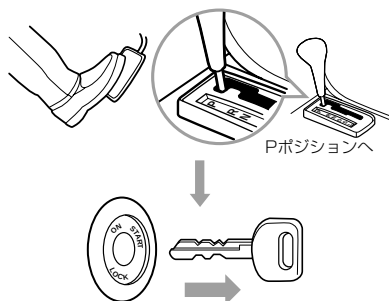
メインユニットより「ピー」という音が鳴ります。

※ブレーキ検出線がP・ポジションインジケータランプに接続した場合、「ピロピロピロピロ」と鳴ります。

P・ポジションが検出できず、フットブレーキを配線した場合

ブレーキをはなします。

メインユニットが「ピロピロピロピロ」と鳴ります。



以上でP・ポジション自動検出機能の確認は終了です

必要に応じて各センサー線(オルタネータ線、キーレスエントリー線、ハザード制御など)の接続を行い配線処理を行ってください。

※上記の操作で確認音が鳴らない場合や、何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類やアース線の接続場所、センサーハーネスの接続場所を変更する必要があります。お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。

エンジン始動関係

Q リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。

- A**
- キーでエンジンを始動していませんか？
 - シフトレバーがパーキング(P)ポジションになっていますか？
 - P・ポジション自動検出確認ができていますか？
 - 車と離れすぎていませんか？
 - スリープ機能が働いていませんか？(23ページ参照)
 - それぞれのコネクターがメインユニットへしっかり接続されていますか？
 - メインユニットのファンクションスイッチが正しく設定されていますか？
 - 車のバッテリーが弱っていませんか？
 - キー操作でエンジンが始動しますか？

Q 気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

- A**
- 気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いからです。
 - セル時間を少し長めに設定すると、改善されることがあります。(14ページ参照)

Q エンジンがかかるがすぐに停止してしまう。

- A**
- エンジン始動検出ができていないためです。
 - オルタネータ線を接続してください。

リモコン操作関係

Q 操作ボタンを押しても、リモコンのインジケータランプが点滅しない。

- A**
- 電池が消耗していませんか？
 - 電池が正しく入っていますか？

Q リモコン操作できる距離が短い。

- A**
- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか？(エンジンを始動・停止時)
 - リモコンのアンテナに手を触れていませんか？
 - 車とリモコンの間に、障害物はありませんか？

Q リモコンのインジケータランプが点滅してしる。

- A**
- 電池が消耗しているので新しい電池と交換してください。

Q ドアロック、アンロックが動作しない。

- A**
- キーでエンジンがかかっている状態でのドアのロック、アンロックはできません。
 - 車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、リモコンでドアをアンロック(解錠)できない場合があります。
 - メインユニットの設置場所によっては、電装品のノイズなどの影響によって、正常に通信できないことがあります。メインユニットの設置場所を変更してください。(オーディオ機器などから離して設置してください)

Q オートキーレス機能が働かない。

- A**
- オートキーレス機能を使用するに設定されていますか？(28ページ参照)
 - 通信範囲の設定を上げてください。(29ページ参照)
 - リモコンの電池が消耗していませんか？
リモコンの電池が消耗すると、インジケータランプが点滅して、電池が消耗していることをお知らせします。このような場合は、早めに新しい電池と交換してください。

Q ターボタイマーが働かない。

- A**
- ターボタイマー機能を使用するには、メインユニットのファンクションスイッチNo.3をON(ターボタイマー機能を使用する)にしてP・ポジションが自動検出できた場合や、P・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合に使用できます。
- また、ターボタイマー機能のアフターアイドルリングは、シフトレバーがP(パーキング)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをP(パーキング)に入れる前に車のエンジンを切ったり、P(パーキング)のままアフターアイドルリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q アフターアイドルリング時間が短い。

- A**
- ターボタイマー機能のアフターアイドルリングはシフトレバーがP(パーキング)に入った時点から開始されていますのでP(パーキング)ポジションの状態であフターアイドルリング時間を消化しています。
- そのため、実際にキーをOFFにしてからのアフターアイドルリング時間と取扱説明書22ページのアフターアイドルリング時間は異なります。

エラー音について

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が作動しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にメインユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社で相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
PPP	STリレー接点溶着時、接点溶着を検出したときのみ 接点溶着後にリモコンよりスタート信号を受信したとき
P- P	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
P- P P	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
P- P P P P	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
P- P-	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
P- P- P	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
PPP P	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
PPP PPP	ドア制御中断時 ドア開検出

※ 初回取り付け時または付け替え時に発生する「ビビビッ ビビビッ」はP・ポジション検出ができていないためのエラー音です。「P・ポジション検出機能の確認」(33ページ)を行ってください。

仕様

■送信機

●リモコン エンジン制御

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	426.0750MHz
電波型式	F2D
送信出力	1mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上

●リモコン ドア制御

適合技術基準	微弱無線局
送信周波数	314.950MHz
電波型式	F2D
送信出力	500uV/m以下 3m地点にて

使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	-10℃～+50℃
寸法	33(W)×78(H)×17(D)mm (突起部含む)
重量	36g(電池含む)

■受信機(メインユニット)

受信周波数	426.0750MHz 314.950MHz
電源電圧	12V車専用(DC9～16V)

消費電流

スリープ時：7mA以下
待機時：約22mA
(車載アンテナLED ON時)
-20℃～+60℃
メインユニット：
136(W)×96(H)×28(D)mm
(突起部含まず)
アンテナユニット：
30(W)×158(H)×50(D)mm
(エレメント部158mm)
(ケーブル長：5m)
メインユニット：195g
アンテナユニット：92g

■別売品

ハザード制御：A-18SF
標準価格 5,800円(税別)

無線イモビライザー：A-23SF
標準価格 5,800円(税別)

追加リモコン：A-106E
標準価格 15,000円(税別)

オルタネータ線：A-60
(コンライト出力線、ドア検出線として使用)
標準価格 900円(税別)

アフターサービスについて

■保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みの方と、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

メインユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」(35ページ参照)の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況なるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎてるとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点はお買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(添付の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損またはもう1つ追加する場合は

スベアのリモコンをお買い求めいただけます。ご使用になるには、本書の追加リモコンの登録手順に従って、新しくIDコードを設定する必要があります。お買い上げの販売店にご依頼ください。

※本機付属のリモコンと別売オプションの追加リモコンを併用している場合で、付属のリモコンが故障した場合は修理をご依頼ください。また、紛失した場合は別途付属リモコンをご注文ください。別売オプションの追加リモコンを2台登録することはできません。

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談受付時間は、月曜日～金曜日9:00～17:30です。ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

＜無料修理規定＞

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換

(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

※弊社営業所・サービス部は添付の一覧表をご覧ください。

保証書

(持込修理)

本書は本書記載内容(表
面記載)で、無償修理行
うこととお約束するの
です。

保証期間中に、正常な使
用状態で故障が発生した
場合に、本書を提示する

うえ、お買い上げの販売店
に修理をご依頼ください。

品 番 **VE-E63K** (テレコントロールエンジンスターター)

S/No.

お買い上げ日

年 月 日

保証期間

お買い上げの日より3年

対象部分 メインユニット(リモコン)は1年。消耗品は除く

お名前

様

ご住所

TEL.()

販売店
店名・住所

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書な
ど、お買い上げの年月日、店名等を証明するものをお貼りください。